

## 1. 環境に関する意識や行動について

### (1) 環境に対する意識について

《環境に関する用語の認知度》

問 1. あなたは次の用語をご存知ですか。

【各項目：選択は1つ】

#### (ア) SDGs（エス・ディー・ジーズ）

「言葉も意味も知っている」が 31.9%、「言葉は知っているが意味は知らない」が 22.2%と、言葉を知っている人の合計は 54.1%となり、昨年度の 33.4%と比べて増加している。

#### (イ) 気候変動への適応策

「言葉も意味も知っている」が 41.4%、「言葉は知っているが意味は知らない」が 23.3%と、言葉を知っている人の合計は 64.7%となり、昨年度の 57.3%と比べて増加している。

#### (ウ) ZEH（ゼッチ）

「言葉も意味も知っている」が 12.8%、「言葉は知っているが意味は知らない」が 10.1%と、言葉を知っている人の合計は 22.9%となり、昨年度の 14.5%と比べて増加している。

#### (エ) 海洋プラスチック問題

「言葉も意味も知っている」が 85.4%、「言葉は知っているが意味は知らない」が 10.5%と、言葉を知っている人の合計は 95.9%となり、昨年度の 87.9%と比べて増加している。

#### (オ) 4R

「言葉も意味も知っている」が 53.1%、「言葉は知っているが意味は知らない」が 16.0%と、言葉を知っている人の合計は 69.1%となり、昨年度の 50.7%と比べて増加している。

#### (カ) 食品ロス

「言葉も意味も知っている」が 91.6%、「言葉は知っているが意味は知らない」が 5.3%と、言葉を知っている人の合計は 96.9%となり、昨年度の 94.3%と比べて増加している。

#### (キ) 生物多様性

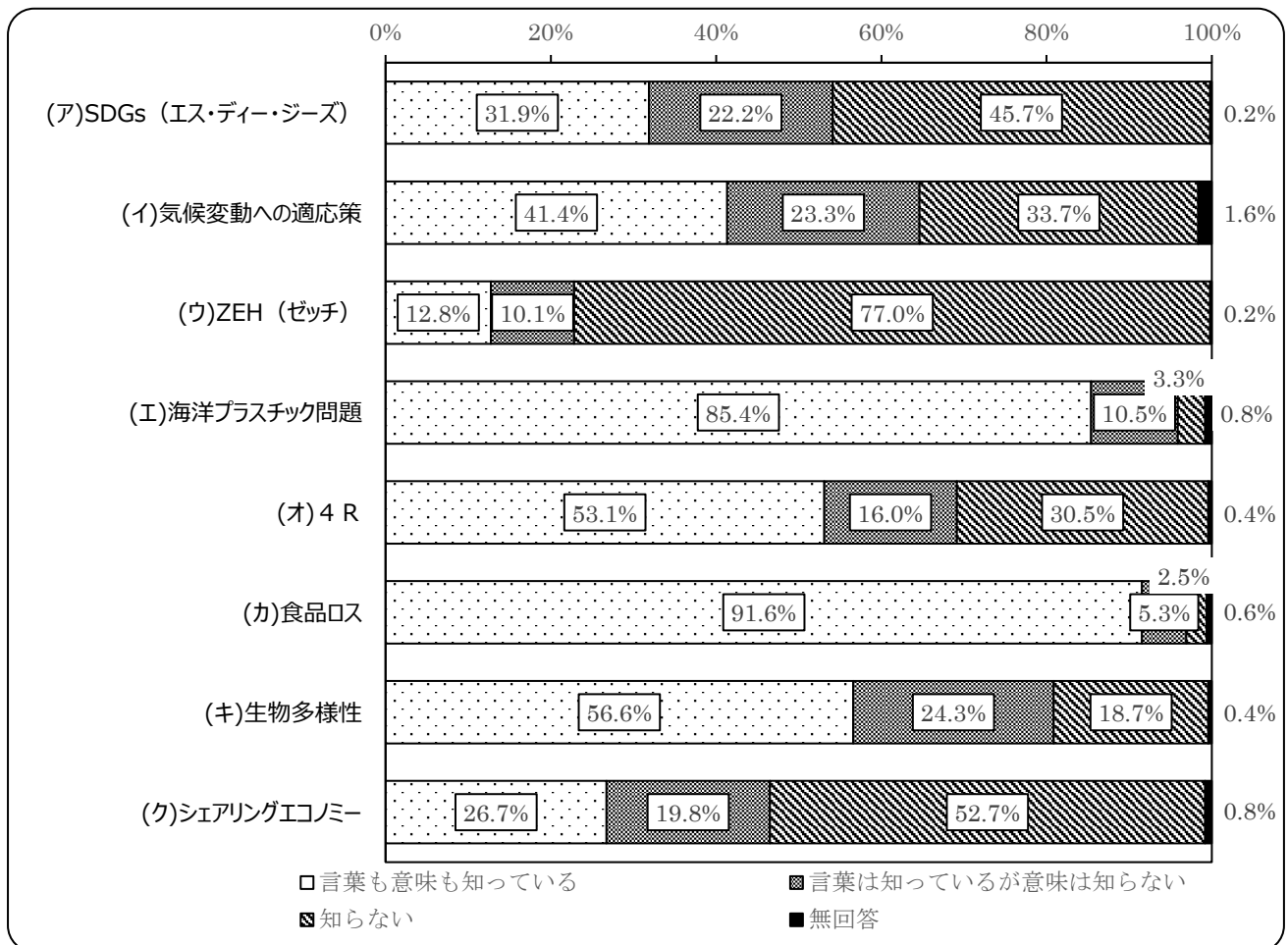
「言葉も意味も知っている」が 56.6%、「言葉は知っているが意味は知らない」が 24.3%と、言葉を知っている人の合計は 80.9%となり、昨年度の 72.6%と比べて増加している。

#### (ク) シェアリングエコノミー

「言葉も意味も知っている」が 26.7%、「言葉は知っているが意味は知らない」が 19.8%と、言葉を知っている人の合計は 46.5%となっている。

昨年度の結果と比較して、(ア)～(キ)すべての用語の認知度が向上しており、環境に関する普及啓発・周知活動の効果が表れていると考えられる。

		言葉も意味も知っている	言葉は知っているが意味は知らない	知らない	無回答	合計
(ア)	SDGs (エス・ディー・ジーズ)	155 31.9%	108 22.2%	222 45.7%	1 0.2%	486 100.0%
(イ)	気候変動への適応策	201 41.4%	113 23.3%	164 33.7%	8 1.6%	486 100.0%
(ウ)	ZEH (ゼッチ)	62 12.8%	49 10.1%	374 77.0%	1 0.2%	486 100.0%
(エ)	海洋プラスチック問題	415 85.4%	51 10.5%	16 3.3%	4 0.8%	486 100.0%
(オ)	4R	258 53.1%	78 16.0%	148 30.5%	2 0.4%	486 100.0%
(カ)	食品ロス	445 91.6%	26 5.3%	12 2.5%	3 0.6%	486 100.0%
(キ)	生物多様性	275 56.6%	118 24.3%	91 18.7%	2 0.4%	486 100.0%
(ク)	シェアリングエコノミー	130 26.7%	96 19.8%	256 52.7%	4 0.8%	486 100.0%



《本市の環境に対する実感》

問 2. 堺市全体の環境についてあてはまるものは次のうちどれですか。【複数選択可：いくつでも】

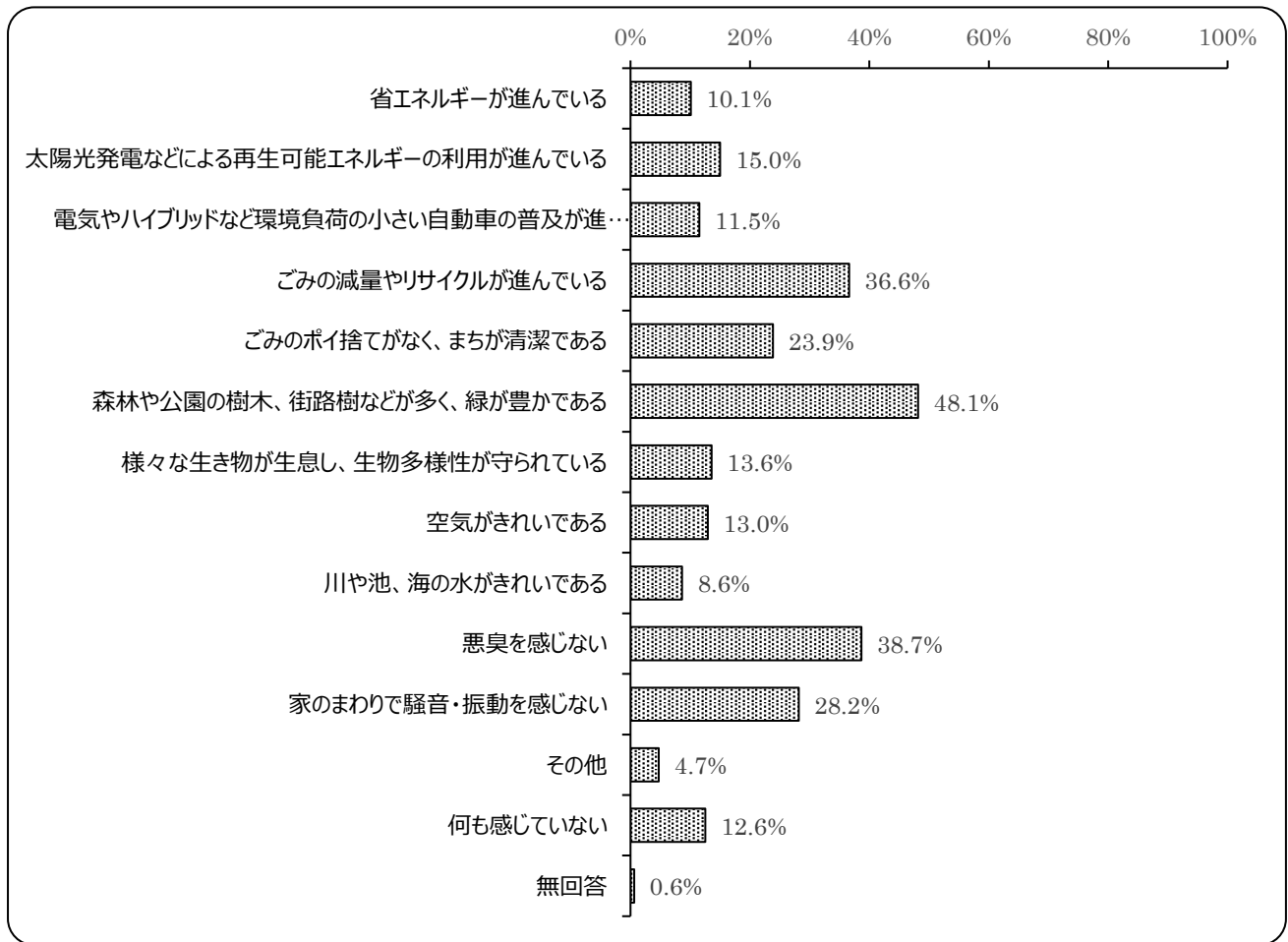
「森林や公園の樹木、街路樹などが多く、緑が豊かである」が48.1%で最も高く、次いで「悪臭を感じない」が38.7%と、他の項目と比較してまちの緑や生活環境が良いと実感している人が多い。一方で、「川や池、海の水がきれいである」が8.6%、「省エネルギーが進んでいる」が10.1%と低く、水質環境の改善や低炭素化について多くの人が実感できていないため、引き続き取組を実施・発信していく必要がある。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	省エネルギーが進んでいる	49	10.1%
2	太陽光発電などによる再生可能エネルギーの利用が進んでいる	73	15.0%
3	電気やハイブリッドなど環境負荷の小さい自動車の普及が進んでいる	56	11.5%
4	ごみの減量やリサイクルが進んでいる	178	36.6%
5	ごみのポイ捨てがなく、まちが清潔である	116	23.9%
6	森林や公園の樹木、街路樹などが多く、緑が豊かである	234	48.1%
7	様々な生き物が生息し、生物多様性が守られている	66	13.6%
8	空気がきれいである	63	13.0%
9	川や池、海の水がきれいである	42	8.6%
10	悪臭を感じない	188	38.7%
11	家のまわりで騒音・振動を感じない	137	28.2%
12	その他	23	4.7%
13	何も感じていない	61	12.6%
	無回答	3	0.6%
	計 (回答総数)	1,289	265.2%

[12 その他]

【主な回答】

- 道路、公園などの雑草が手入れされている。
- 中心部と住宅地の環境の差が大きい。
- 市内の環境は悪化していると感じる。
- 市の取組が実態に反映されていないので、もっと精力的に取り組んでほしい。



《環境問題への関心度》

問3. 関心のある環境問題は、次のうちどれですか。

【複数選択可：いくつでも】

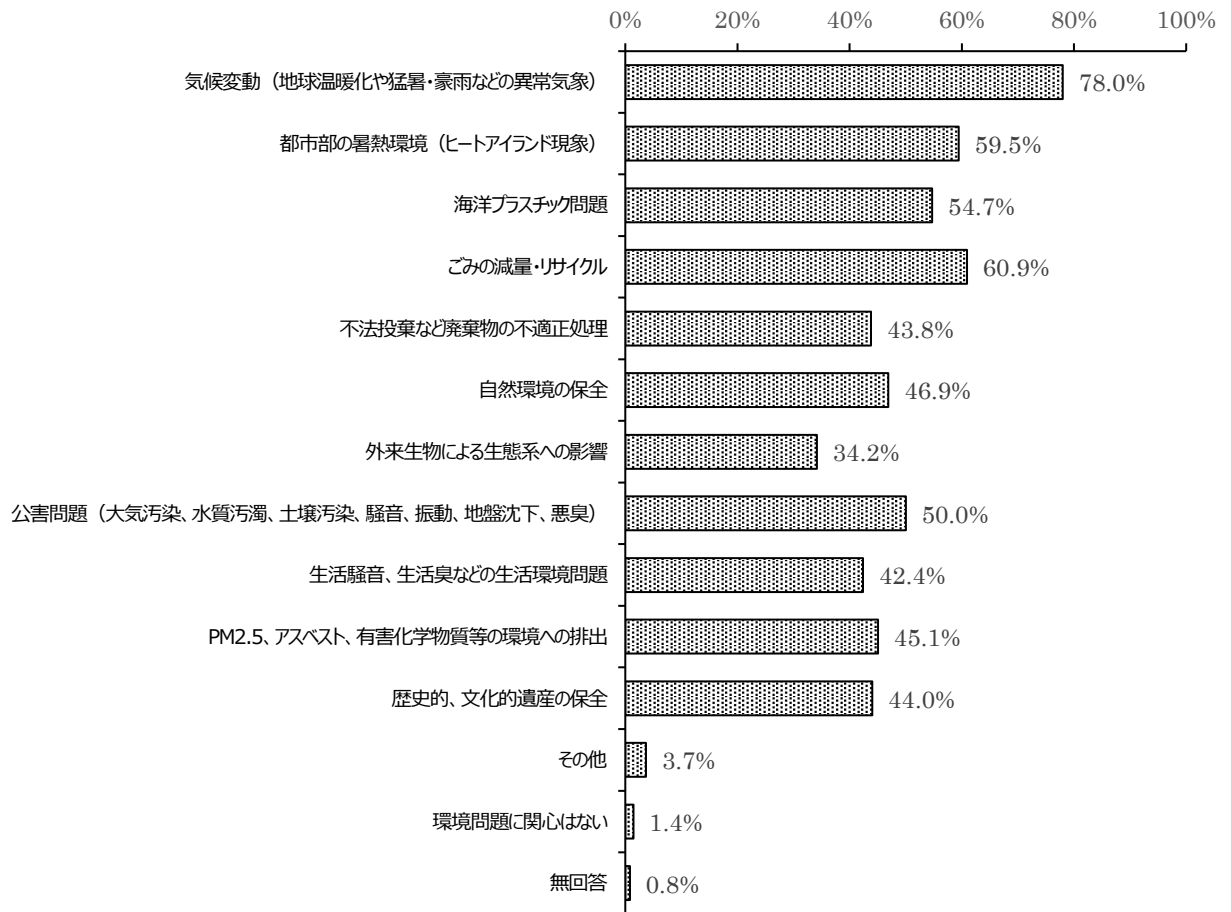
「気候変動（地球温暖化や猛暑・豪雨などの異常気象）」と回答した割合が78.0%と最も高く、次いで「ごみの減量・リサイクル」が60.9%、「都市部の暑熱環境（ヒートアイランド現象）」が59.5%、「海洋プラスチック問題」が54.7%と続いており、特に気候変動や資源循環の分野への関心の高さが伺える。また、「環境問題に関心がない」と回答した割合が1.4%であり、裏を返せば9割以上の方が環境問題に関心を持っていることが伺える。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	気候変動（地球温暖化や猛暑・豪雨などの異常気象）	379	78.0%
2	都市部の暑熱環境（ヒートアイランド現象）	289	59.5%
3	海洋プラスチック問題	266	54.7%
4	ごみの減量・リサイクル	296	60.9%
5	不法投棄など廃棄物の不適正処理	213	43.8%
6	自然環境の保全	228	46.9%
7	外来生物による生態系への影響	166	34.2%
8	公害問題（大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭）	243	50.0%
9	生活騒音、生活臭などの生活環境問題	206	42.4%
10	PM2.5、アスベスト、有害化学物質等の環境への排出	219	45.1%
11	歴史的、文化的遺産の保全	214	44.0%
12	その他	18	3.7%
13	環境問題に関心はない	7	1.4%
	無回答	4	0.8%
	計（回答総数）	2,748	565.4%

[12 その他]

【主な回答】

- 自然環境の適切な管理
- 仁徳天皇陵古墳の保全
- 空き家問題
- 人間同士が笑顔で生活できる環境づくり



《実現してほしい将来像》

問 4. 堺市で実現してほしい環境の将来像は、次のうちどれですか。 【複数選択可：いくつでも】

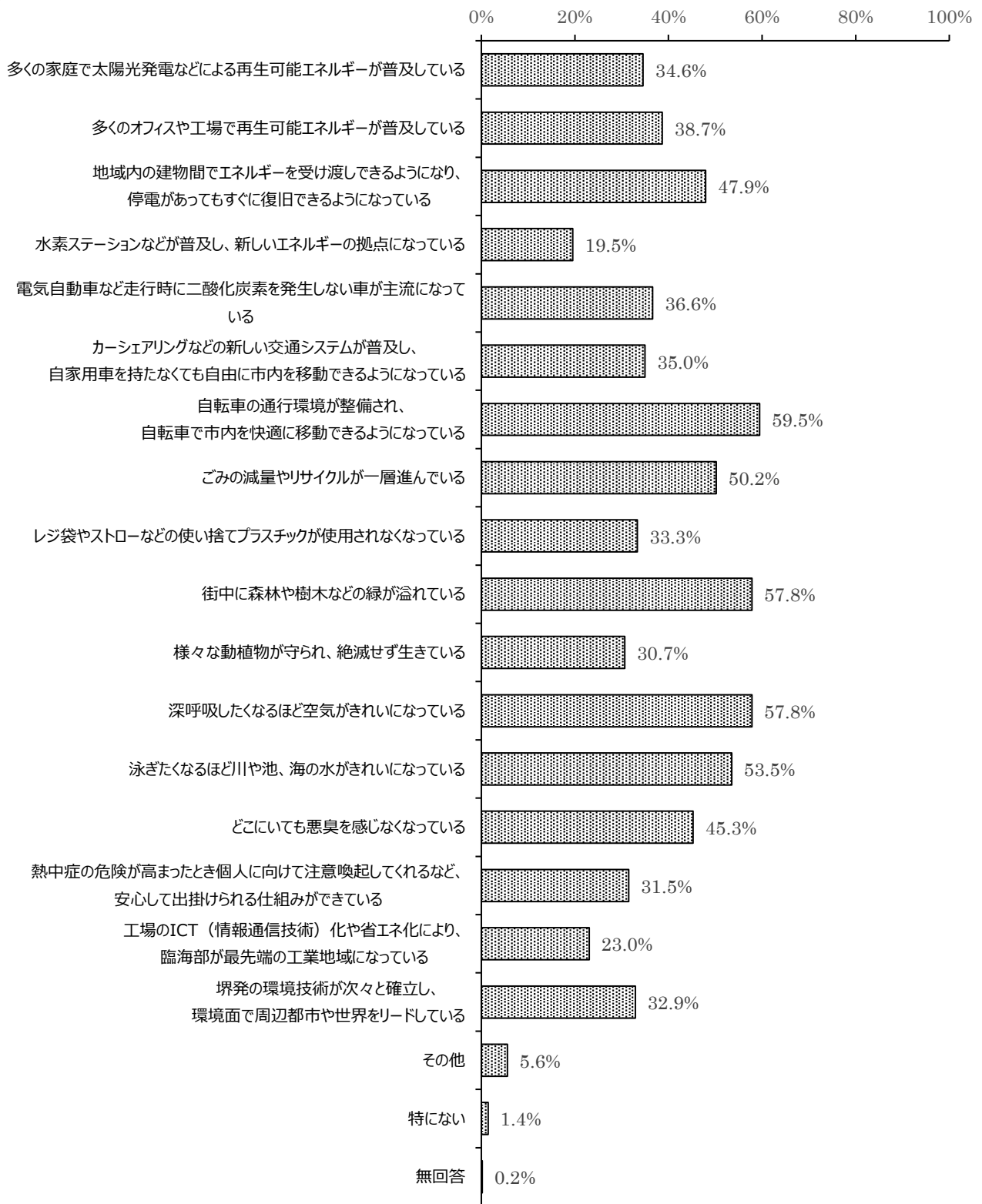
「自転車の通行環境が整備され、自転車で市内を快適に移動できるようになっている」が 59.5%で最も高く、「街中に森林や樹木などの緑が溢れている」と「深呼吸したくなるほど空気がきれいになっている」が 57.8%、「泳ぎたくなるほど川や池、海の水がきれいになっている」が 53.5%と続いており、生活における身近な環境が良くなってほしいと考えている人が多いことが伺える。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	多くの家庭で太陽光発電などによる再生可能エネルギーが普及している	168	34.6%
2	多くのオフィスや工場で再生可能エネルギーが普及している	188	38.7%
3	地域内の建物間でエネルギーを受け渡しできるようになり、停電があってもすぐに復旧できるようになっている	233	47.9%
4	水素ステーションなどが普及し、新しいエネルギーの拠点になっている	95	19.5%
5	電気自動車など走行時に二酸化炭素を発生しない車が主流になっている	178	36.6%
6	カーシェアリングなどの新しい交通システムが普及し、自家用車を持たなくても自由に市内を移動できるようになっている	170	35.0%
7	自転車の通行環境が整備され、自転車で市内を快適に移動できるようになっている	289	59.5%
8	ごみの減量やリサイクルが一層進んでいる	244	50.2%
9	レジ袋やストローなどの使い捨てプラスチックが使用されなくなっている	162	33.3%
10	街中に森林や樹木などの緑が溢れている	281	57.8%
11	様々な動植物が守られ、絶滅せず生きている	149	30.7%
12	深呼吸したくなるほど空気がきれいになっている	281	57.8%
13	泳ぎたくなるほど川や池、海の水がきれいになっている	260	53.5%
14	どこにいても悪臭を感じなくなっている	220	45.3%
15	熱中症の危険が高まったとき個人に向けて注意喚起してくれるなど、安心して出掛けられる仕組みができています	153	31.5%
16	工場の ICT (情報通信技術) 化や省エネ化により、臨海部が最先端の工業地域になっている	112	23.0%
17	堺発の環境技術が次々と確立し、環境面で周辺都市や世界をリードしている	160	32.9%
18	その他	27	5.6%
19	特になし	7	1.4%
	無回答	1	0.2%
	計 (回答総数)	3,378	695.1%

[18 その他]

【主な回答】

- 路上喫煙が全面禁止されている。
- 環境負荷が少なくエネルギーを効率的に利用できる燃料電池が普及している。
- 道路等公共的な場所のバリアフリーが進んで、どんな人にとっても生活しやすい都市になっている。
- 街中や住宅街などいたるところに屋根付きベンチやミスト機能がある休憩場所やバスの停留所を設置し、移動の時に細かい休憩をとれるようになっている。





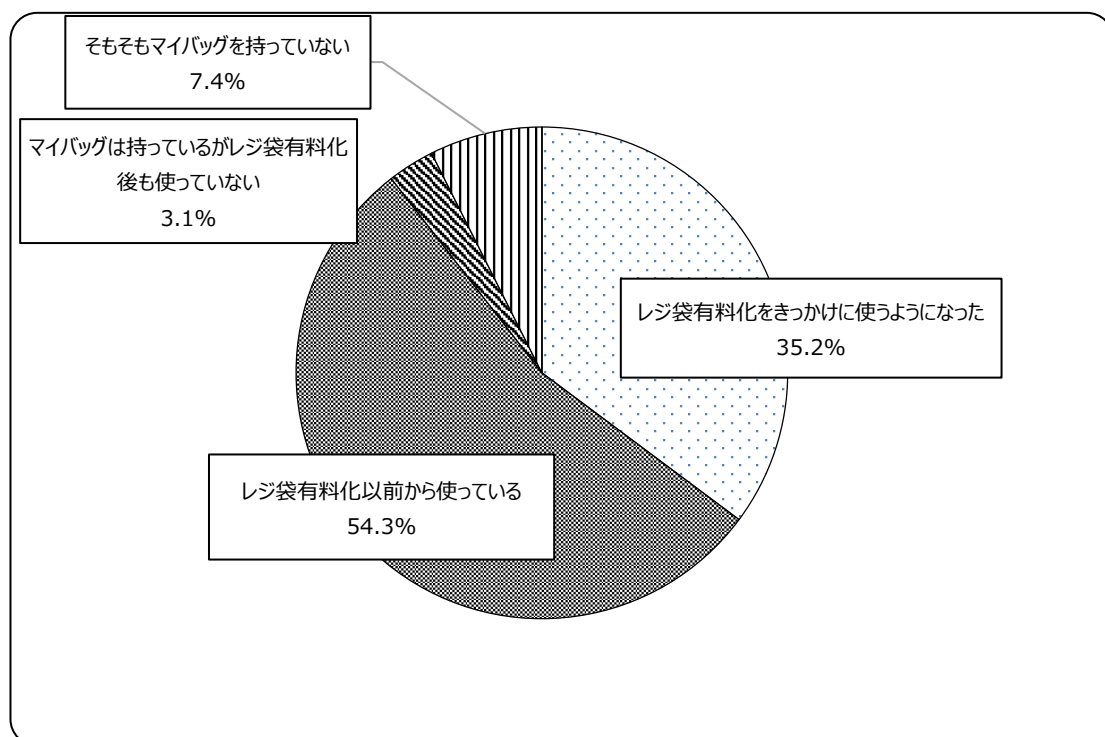
## (2) 環境に対する行動について

### 《マイバッグの使用状況》

問 5. 令和 2 年 7 月 1 日からレジ袋が有料化されましたが、繰り返し使えるマイバッグを普段使っていますか。 【選択は 1 つ】

「レジ袋有料化以前から使っている」(54.3%)、「レジ袋有料化をきっかけに使うようになった」(35.2%)の合計は 89.5%となり、レジ袋の有料化によってマイバッグの使用がさらに促進されたことがわかる。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	レジ袋有料化をきっかけに使うようになった	171	35.2%
2	レジ袋有料化以前から使っている	264	54.3%
3	マイバッグは持っているがレジ袋有料化後も使っていない	15	3.1%
4	そもそもマイバッグを持っていない	36	7.4%
	計 (回答総数)	486	100.0%



《マイバッグを選ぶ際に重視した点①》

問6. 問5で「1 レジ袋有料化をきっかけに使うようになった」と回答された方に伺います。

マイバッグを選ぶ際、どのような点を一番重要視しましたか。

【選択は1つ】

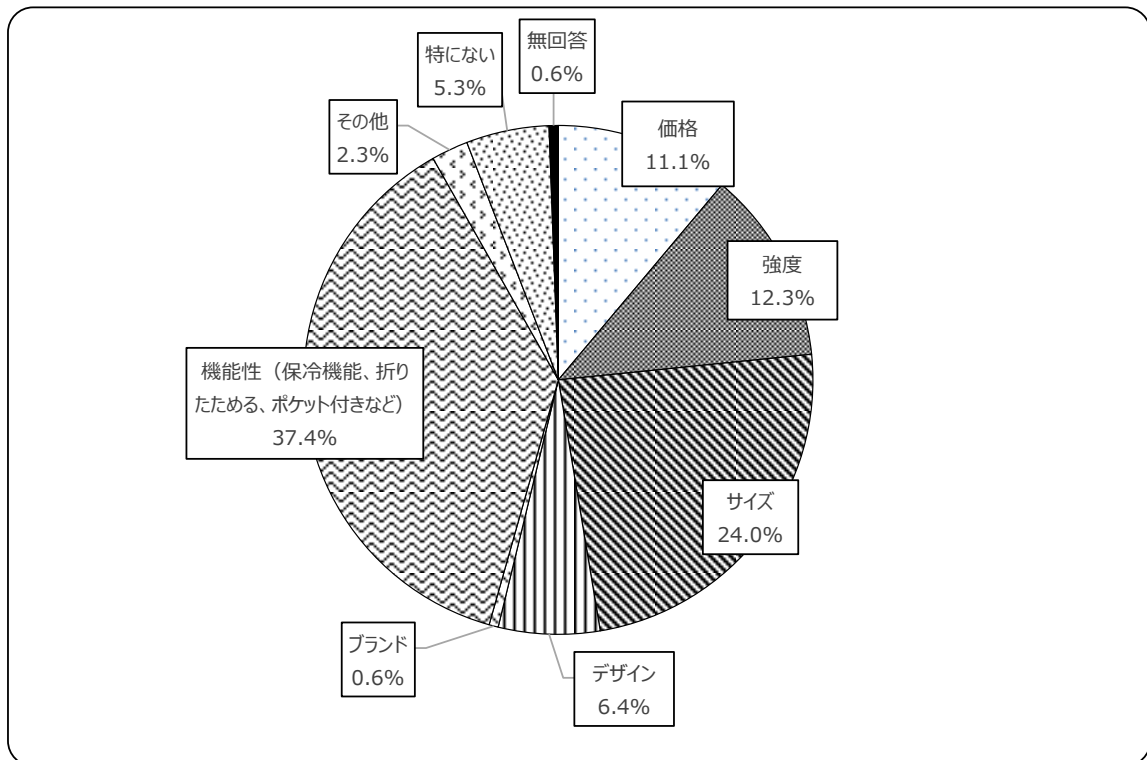
「機能性（保冷機能、折りたためる、ポケット付きなど）」が 37.4%で最も高く、「サイズ」が 24.0%、「強度」が 12.3%、「価格」が 11.1%と続いており、レジ袋の単なる代用品ではなく、付加価値を求めてマイバッグを選んでいる人が多いことが伺える。

	選択項目 (N=171)	回答数	構成比
1	価格	19	11.1%
2	強度	21	12.3%
3	サイズ	41	24.0%
4	デザイン	11	6.4%
5	ブランド	1	0.6%
6	機能性（保冷機能、折りたためる、ポケット付きなど）	64	37.4%
7	その他	4	2.3%
8	特にない	9	5.3%
	無回答	1	0.6%
	計（回答総数）	171	100.0%

[7 その他]

【主な回答】

- 貰いものなので自分で選んでいない。
- 使いやすさ



《マイバッグを選ぶ際に重視した点②》

問7. 問5で「2 レジ袋有料化以前から使っている」と回答された方に伺います。

マイバッグを選ぶ際、どのような点を一番重要視しましたか。

【選択は1つ】

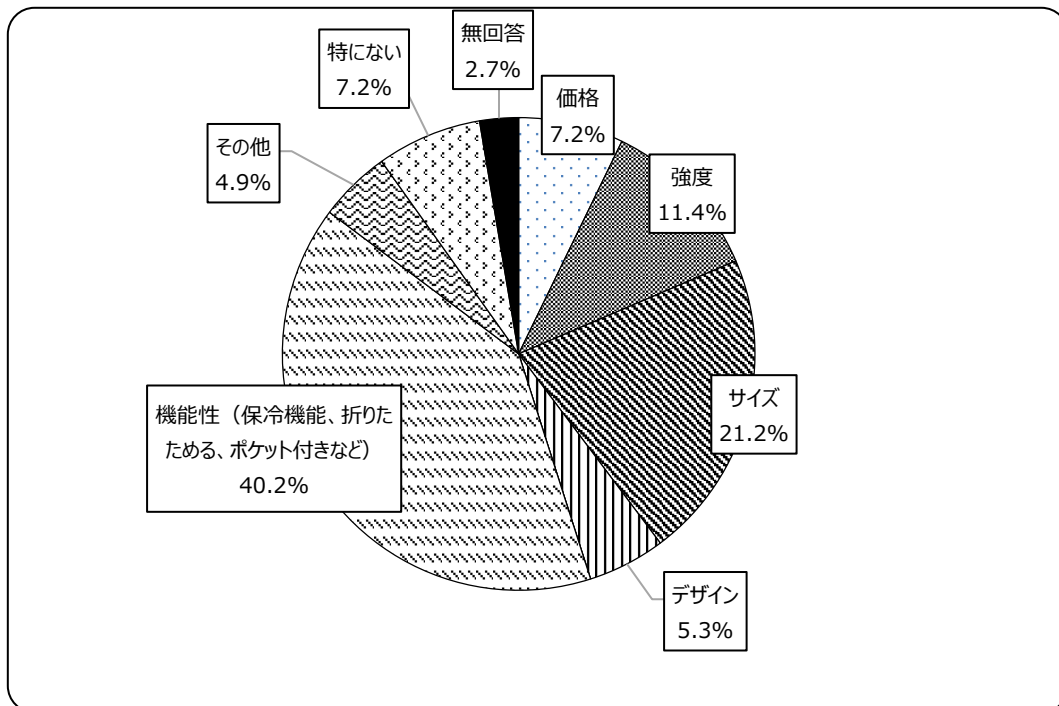
「機能性（保冷機能、折りたためる、ポケット付きなど）」が40.2%で最も高く、「サイズ」が21.2%、「強度」が11.4%、「価格」が7.2%と続いており、レジ袋有料化をきっかけにマイバッグを使うようになった人と同様の傾向を示した。マイバッグを使い始めたきっかけにかかわらず、マイバッグは付加価値を求めて選んでいる人が多いことが伺える。

	選択項目 (N=264)	回答数	構成比
1	価格	19	7.2%
2	強度	30	11.4%
3	サイズ	56	21.2%
4	デザイン	14	5.3%
5	ブランド	0	0.0%
6	機能性（保冷機能、折りたためる、ポケット付きなど）	106	40.2%
7	その他	13	4.9%
8	特にない	19	7.2%
	無回答	7	2.7%
	計 (回答総数)	264	100.0%

[7 その他]

【主な回答】

- 衛生的かどうか
- 洗濯可能かどうか
- 将来的にごみにならない素材で作られている
- 自分の家に前々からあったものを使っている



《持っているマイバッグを使わない理由》

問 8. 問 5 で「3 マイバッグは持っているがレジ袋有料化後も使っていない」と回答された方に伺います。

使っていない理由は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

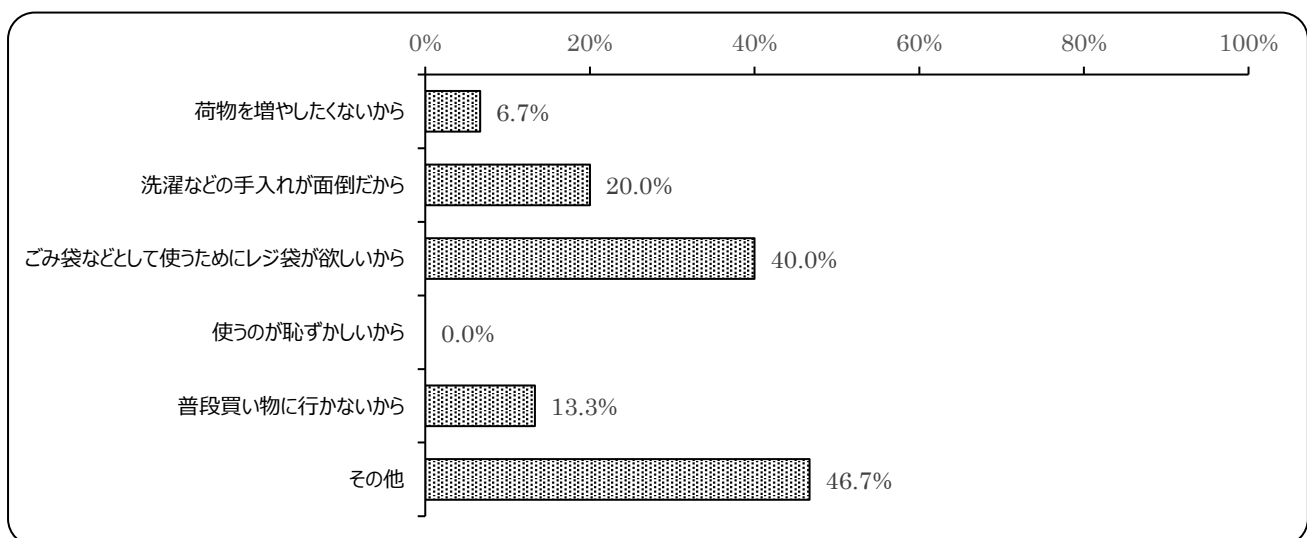
「ゴミ袋などとして使うためにレジ袋が欲しいから」が 40.0%、「洗濯などの手入れが面倒だから」が 20.0%、「普段買い物に行かないから」が 13.3%と続いている。

	選択項目 (N=15)	回答数	構成比
1	荷物を増やしたくないから	1	6.7%
2	洗濯などの手入れが面倒だから	3	20.0%
3	ゴミ袋などとして使うためにレジ袋が欲しいから	6	40.0%
4	使うのが恥ずかしいから	0	0.0%
5	普段買い物に行かないから	2	13.3%
6	その他	7	46.7%
	計 (回答総数)	19	126.7%

〔6 その他〕

【主な回答】

- 家で保存していたレジ袋を使い切ってからマイバッグに切り替える
- 買い物の目的によって必要なマイバッグの大きさが変わり、複数持ち歩くのが面倒だから
- レジ袋有料化が環境問題を免罪符とした経費削減という印象を受け、取組に反発するため
- つい持ち歩きを忘れてしまうため



《レジ袋に支払える金額》

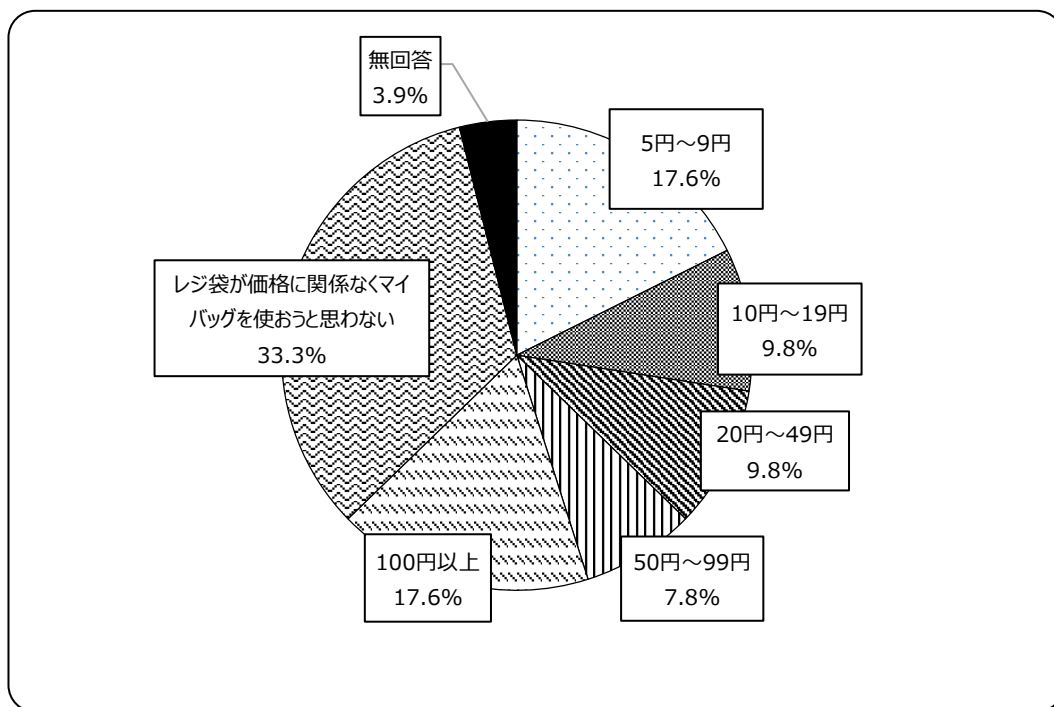
問9. 問5で「3 マイバッグは持っているがレジ袋有料化後も使っていない」「4 そもそもマイバッグを持っていない」と回答された方に伺います。

レジ袋が何円になればマイバッグを使おうと思いますか。

【選択は1つ】

レジ袋に支払える金額は人によって差はあるものの、レジ袋の価格が上がれば、項目1から5を選択した62.6%の人はマイバッグを使うと考えていることがわかる。しかし、レジ袋の価格に関係なくマイバッグを使わない人が33.3%いるため、マイバッグをさらに普及させるには、レジ袋有料化以外の取組も必要である。

	選択項目 (N=51)	回答数	構成比
1	5円～9円	9	17.6%
2	10円～19円	5	9.8%
3	20円～49円	5	9.8%
4	50円～99円	4	7.8%
5	100円以上	9	17.6%
6	レジ袋の価格に関係なくマイバッグを使おうと思わない	17	33.3%
	無回答	2	3.9%
	計 (回答総数)	51	100.0%

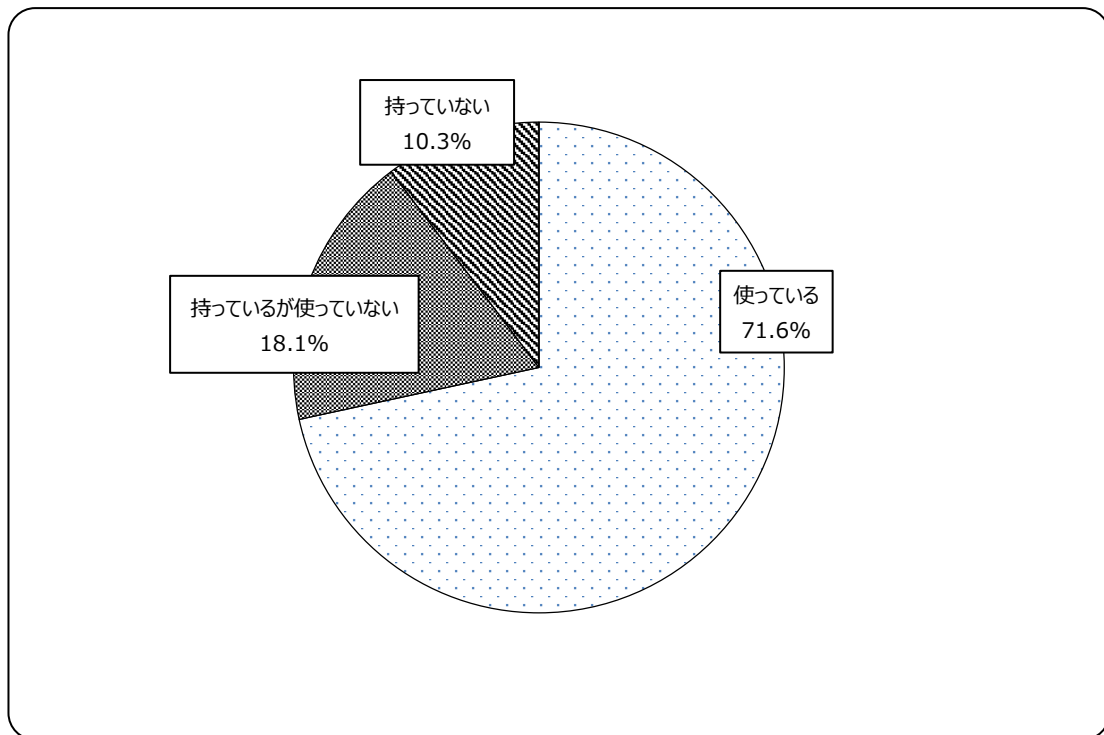


《マイボトルの使用状況》

問 10. 水筒やタンブラーなどの繰り返し使えるマイボトルを普段使っていますか。【選択は1つ】

「使っている」が 71.6%、「持っているが使っていない」が 18.1%と、すでに多くの人マイボトルを所有しているが、一部の人は普段使いしていない状況が伺える。

	選択項目 (N=486)	回答数	構成比
1	使っている	348	71.6%
2	持っているが使っていない	88	18.1%
3	持っていない	50	10.3%
	計 (回答総数)	486	100.0%



《マイボトルに求めるもの》

問11. 問10で「1 使っている」と回答された方に伺います。

マイボトルを選ぶ際、どのような点を重要視しましたか。

【選択は1つ】

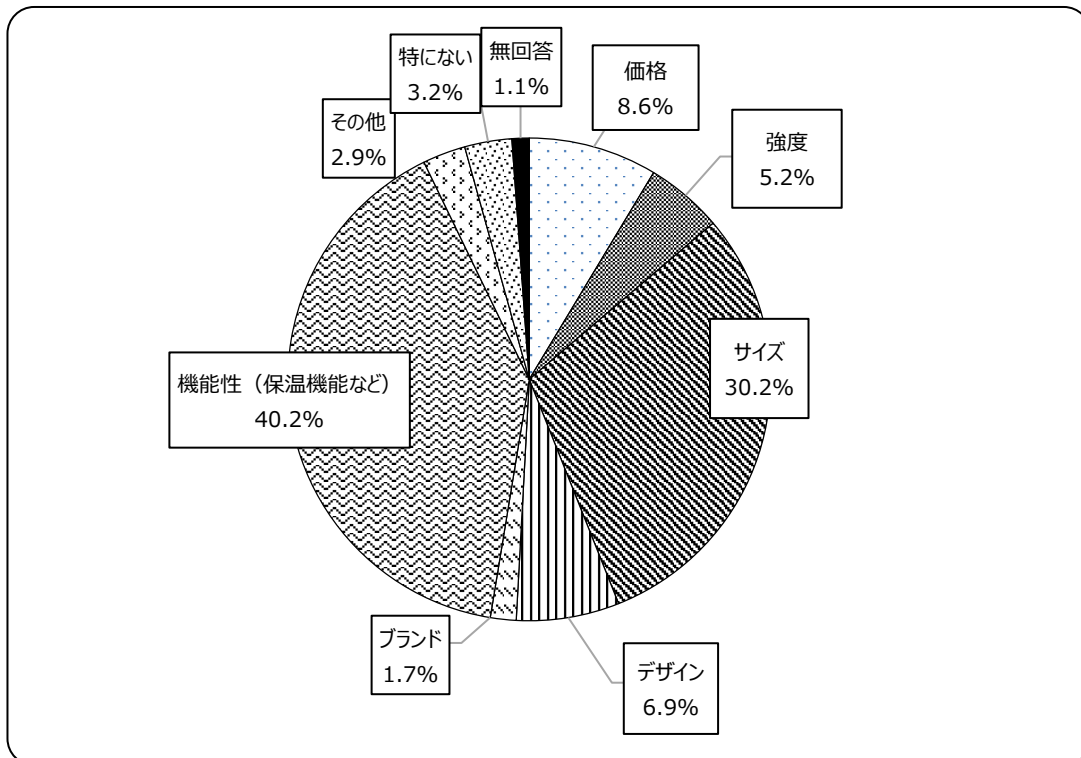
「機能性（保温機能など）」が40.2%で最も高く、「サイズ」が30.2%、「価格」が8.6%、「デザイン」が6.9%と続いており、飲み物を自分の好きな状態で飲めて、飲みたい量を入れられるという点が重視されていることがわかる。

	選択項目 (N=348)	回答数	構成比
1	価格	30	8.6%
2	強度	18	5.2%
3	サイズ	105	30.2%
4	デザイン	24	6.9%
5	ブランド	6	1.7%
6	機能性（保温機能など）	140	40.2%
7	その他	10	2.9%
8	特にない	11	3.2%
	無回答	4	1.1%
	計（回答総数）	348	100.0%

[7 その他]

【主な回答】

- サイズと機能性
- 氷が直接口に入らないよう差し口に仕切りがあること
- 洗いやすさなどメンテナンスの容易さ
- 抗菌仕様



《持っているマイボトルを使わない理由》

問 12. 問 10 で「2 持っているが使っていない」と回答された方に伺います。

使っていない理由は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

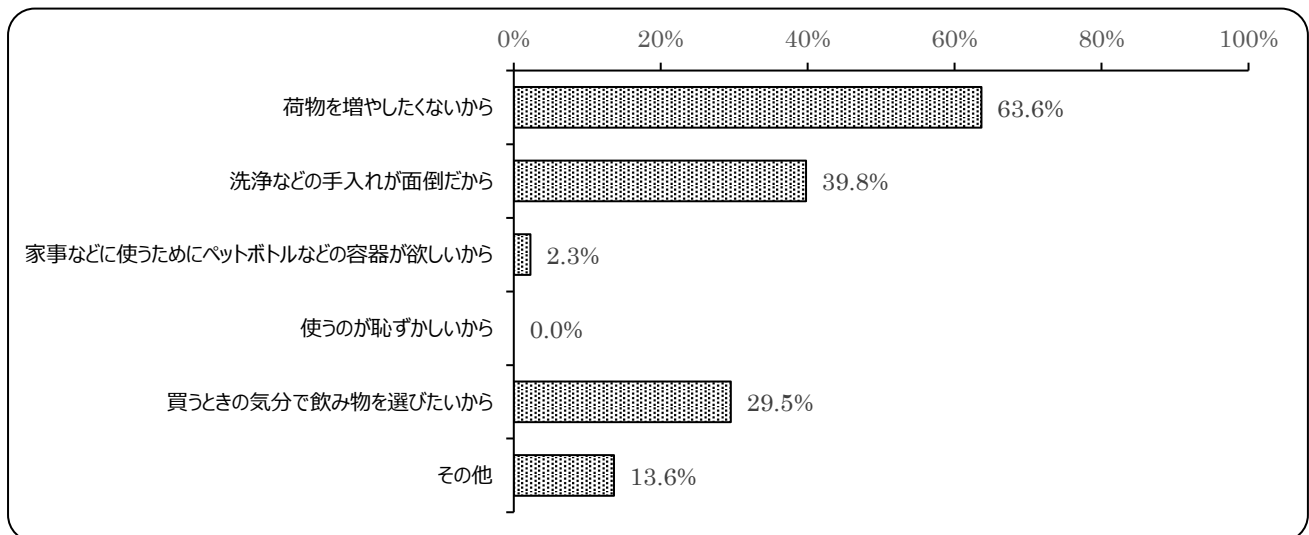
「荷物を増やしたくないから」が 63.6%、「洗淨などの手入れが面倒だから」が 39.8%、「買うときの気分で飲み物を選びたいから」が 29.5%と続いており、日常生活における手間の増加が普段使いへの障壁となっている状況が伺える。

	選択項目 (N=88)	回答数	構成比
1	荷物を増やしたくないから	56	63.6%
2	洗淨などの手入れが面倒だから	35	39.8%
3	家事などに使うためにペットボトルなどの容器が欲しいから	2	2.3%
4	使うのが恥ずかしいから	0	0.0%
5	買うときの気分で飲み物を選びたいから	26	29.5%
6	その他	12	13.6%
	計 (回答総数)	131	148.9%

〔6 その他〕

【主な回答】

- 短時間の外出しかしないから
- 夏場に1~2リットル水分補給する中で、通常の水筒では量が足りないから
- 外出時の水分補給は不要と思っているから
- 在宅勤務になり外出する頻度が減ったから





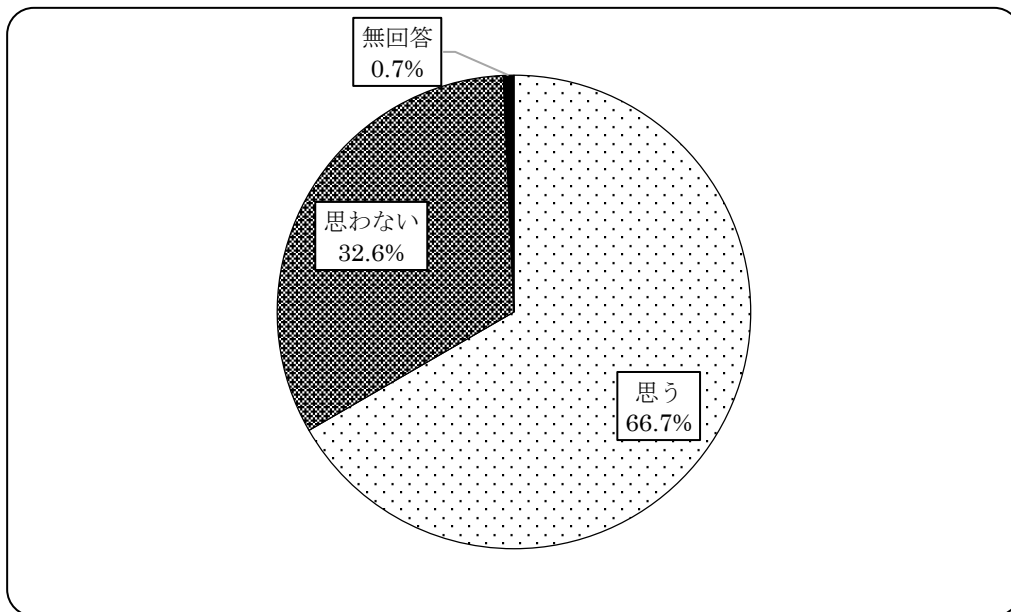
《マイボトル給水機の需要》

問 13. 問 10 で「2 持っているが使っていない」「3 そもそも持っていない」と回答した方に伺います。

市内の様々な施設に写真のようなマイボトル用の給水機が置かれ、いつでも無料で利用できるなら、マイボトルを持ち歩こうと思いますか。 【選択は1つ】

「思う」が 66.7%、「思わない」が 32.6%と、給水機があればマイボトルを持ち歩きたいと多くの方が考えている様子が伺える。マイボトルを使う人を増やすために、給水機の設置は効果的な取組であることが伺える。

	選択項目 (N=138)	回答数	構成比
1	思う	92	66.7%
2	思わない	45	32.6%
	無回答	1	0.7%
	計 (回答総数)	138	100.0%



【給水機の設置場所について】

- いつも行く場所に設置されるなら使おうと思うが、給水機を使うためだけにそこへ行こうとは思わない。
- 普段市の公共施設に行かないから
- 駅の構内や通勤経路にあれば使うかもしれない。

【衛生面への不安について】

- 不特定多数の人が利用するので衛生的に不安はあるが、熱中症予防にも役立つと思うので清潔であれば利用したい。
- 給水機内部の衛生面が不安だから
- 全ての給水口を衛生的に保つことは困難だと思うから
- 給水機の水質が気になるから
- 給水機の衛生・メンテナンス等の管理状況が分からないから
- 新型コロナウイルスや他の感染症の影響が危惧されるから

【利用マナーへの不安について】

- ペット用のボトルをそのまま使って給水する人がいる可能性があるから
- 大量に空容器を持ってきて給水を占領し、順番待ちしないといけない可能性があるから
- 悪意のある人が給水機に薬物や汚染物を混入させる可能性があるから

【水の飲用について】

- お茶かコーヒーが出れば使いたいが、水なら使いたくない。
- 水を飲むことがほとんどないから
- 水を飲むのが苦手だから
- 蛇口から出る水道水をそのまま飲めば十分だから

【マイボトルの利便性について】

- マイボトルを持ち歩くのがめんどうだから
- マイボトルが荷物になるから
- マイボトルを毎日洗って清潔にするのがめんどうだから
- 飲みたい時に近くでペットボトル飲料を買う方が早いから
- マイボトルがなくてもあまり不自由を感じないから

【その他】

- 市民全員へのサービスでなく特定の市民だけが利用できる状態になるので好ましくない。
- 設置するなら若干の金額であっても有料にして、より手厚いサービスを提供すべき
- 直接水が飲める冷水器を設置するほうが便利